

2010 年春季年会

年会プログラム

於 広島大学

2010 年 3 月 24 日 (水) ~ 3 月 27 日 (土)

日本天文学会

日本天文学会 2010 年春季年会プログラム

期 日 2010 年 3 月 24 日 (水) ~ 3 月 27 日 (土)

場 所 広島大学 (広島県東広島市)

電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2010 年 3 月 23 日 (火) ~ 3 月 28 日 (日) >

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
3月23日 (火)								記者会見				
3月24日 (水)	A	受付			S. 銀河核 N. 恒星 X. 銀河形成 U. 宇宙論 Y. 教育・他 K. 超新星爆発 R. 銀河			天文教育 フォーラム (E会場)		S. 銀河核 N. 恒星/L. 太陽系 X. 銀河形成 U. 宇宙論 Y. 教育・他 K. 超新星爆発 R. 銀河		
	B											
	C											
	D											
	E											
	F											
	G											
3月25日 (木)	A	受付	T. 銀河団	ポスター	昼休み	P. 星・惑星 V. 地上観 X. 銀河形成 J. 高密度星 A. Fermi W. 飛翔観 Q. 星間	研究奨励賞 受賞記念講演 (E会場)	ALMA 特別セッション (E会場)				
	B		L. 太陽系									
	C		X. 銀河形成									
	D		J. 高密度星									
	E		A. Fermi									
	F		W. 飛翔観									
	G		Q. 星間									
3月26日 (金)	A	受付	P. 星・惑星	ポスター	昼休み (理事会)	P. 星・惑星 V. 地上観 M. 太陽 J. 高密度星 B. T M T W. 飛翔観 Q. 星間	総会 出席者確認	総会 (E会場)		林 賞 受 賞 記 念 講 演	懇親会	
	B		V. 地上観									
	C		M. 太陽									
	D		J. 高密度星									
	E		B. T M T									
	F		W. 飛翔観									
	G		Q. 星間									
3月27日 (土)	A	受付	P. 星・惑星	ポスター	昼休み (評議員会)	P. 星・惑星 V. 地上観 W. 飛翔観	ジュニアセッション					
	B		V. 地上観									
	C		M. 太陽									
	D		J. 高密度星									
	E		B. T M T									
	F		W. 飛翔観									
	G											
3月28日 (日)							公開講演会					
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19

A会場 : 法経 B 155
 B会場 : 法経 B 157
 C会場 : 法経 B 159
 D会場 : 法経 B 255
 E会場 : 法経 B 257
 F会場 : 理 E 002
 G会場 : 理 E 102

受 付 : 法経 1F ロビー
 会議室 : 理 A 017
 ポスター会場 1 : 理 E 104
 ポスター会場 2 : 理 E 208
 ポスター会場 3 : 理 E 209
 ポスター会場 4 : 理 E 211
 ポスター会場 5 : 理 E 210
 ポスター会場 6 : 理 E 203 ジュニアセッション
 展示コーナー : 法経 1F ロビー、理 1F ロビー
 懇親会会場 : 生協食堂

◎講演数

講演数：合計 650

(口頭講演 (a)：412、ポスター講演 (b)：186、ポスター講演 (c)：52)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料)		
講演登録費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年会予稿集	1,000 円 (消費税込み)	1,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (法経 1F ロビー)

○参加登録受付時間：3月24日 11:00～16:00
 3月25日 09:00～16:00
 3月26日 09:00～16:00
 3月27日 09:00～14:00

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、所属機関で必要となる場合もありますので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費を支払う必要があります。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

※インターネットを利用される方は、隣の専用受付で利用申請してください。学内無線 LAN が使用可能です。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は7会場で行います。口頭講演(添字 a)は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演(添字 b)は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字 b)、(添字 c)は、3月24日の12:00から3月27日の13:30までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦180 cm×横90 cmです。
3. 講演には液晶プロジェクタをご使用ください。液晶プロジェクタは、セッション開始前にPCの接続を確認してください。OHP使用の申込があった講演については、書画カメラを準備しております。書画カメラ使用の場合は、A4の紙で発表をご用意ください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中にPCを接続しておいてください。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
3月23日	14:00～15:00	本部2階会議室	記者会見 年会講演の中から、数件のトピックスを選び、記者会見を行います。
3月24日	15:00～16:20	E会場	天文教育フォーラム
3月25日	15:30～16:30	E会場	研究奨励賞受賞記念講演
	16:30～18:00	E会場	ALMA 特別セッション
3月26日	15:30～17:00 (15:30～16:00 総会出席者確認、16:00 総会開始)	E会場	総 会 ○各賞の受賞 ○2009年度事業報告 ○2009年度決算報告 ○監査報告
	17:00～17:30	E会場	林忠四郎賞受賞記念講演
	18:00～	大学生協食堂	懇親会
3月27日	13:30～16:10	東広島市中央公民館大ホール	公開講演会

◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	一般参加可否
3月25日	12:30～13:30	A会場	宇宙電波懇談会総会	C
	12:30～13:30	E会場	第1回男女共同参画タウンミーティング	A
3月26日	12:30～13:30	会議室	理事会	D
	12:30～13:30	A会場	光学赤外線天文連絡会総会	B
3月27日	12:30～13:30	会議室	評議員会	D
	12:30～13:30	A会場	「あかり」全天サーベイ点源カタログの一般公開説明会	A
	12:30～13:30	D会場	天文天体物理学若手の会総会	C
未定	12:30～13:30		天文教育委員会	D

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

- A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

◎天文教育フォーラム

テーマ：「世界天文年後の天文教育と普及」

日時：2010年3月24日(水) 15:00～16:20

場所：E会場

概要：昨年、2009年は世界天文年で、年末にはグランドフィナーレが神戸で開催され、その幕を閉じました。天文学関係者にはさまざまな面でこのイベントと関連をもたれた方も多かったのではないのでしょうか。また、天文現象にも事欠きませんでした。特に7月の皆既日食はメディアでも大きく取り上げられました。この世界天文年を機会に多くの天文教育普及活動が世界中でくり広げられました。その中には従来の個々の活動が全国的に組織化されたり、新たな試みに取り組みられた例もあったでしょう。世界天文年に関連したイベント等も各地で催され、普段は天文学に関心の薄い層の人たちにも天文学をアピールすることもできたでしょう。しかし、昨年に盛り上がったこのような活動を一過性のものとして終わらせるのではなく、これを契機として、一般市民までも巻き込んだ息の長い天文学の教育普及活動に繋げてゆくことは重要であると考えられます。そこで、今後継続的であることが期待される企画のいくつかから、その経過と課題や問題点等を中心に報告していただき、世界天文年後の天文教育と普及について今後の展望を拓きたいと思えます。

話題提供者：1. 世界天文年をきっかけとして「宙博」 藤原 洋 (インターネット総合研究所)
2. 学校教育への影響「君もガリレオ」 縣 秀彦 (国立天文台)
3. 文化／普及面への寄与「アジアの星の神話・伝説」 吉田二美 (国立天文台)
4. 研究者側からの発信「全国同時七夕講演会」 柴田一成 (京都大学)

実行委員：仲野 誠 (大分大学)、加藤一孝 (広島市こども文化科学館)、中道晶香 (京都産業大学)、熊谷紫麻見 (日本大学)

◎ALMA 特別セッション

日時：2010年3月25日(木) 16:30～18:00

場所：E会場

概要：日米欧3極による国際プロジェクトであるALMA(アタカマミリ波サブミリ波干渉計)の建設は急ピッチで進んでおり、2010年度にはいよいよ初期運用の観測が公募される予定です。今回の特別セッションでは、このようなプロジェクトの進捗や初期運用で提供される望遠鏡性能を紹介し、ALMAの共同利用観測の全体像や、ALMA東アジア地域センター(EA-ARC)が提供するサービスの内容について説明し質疑を行います。

さらに、目前に迫った科学運用に日本の研究者が積極的に参加する機運を盛り上げるため、星・惑星系形成と系外銀河の分野からお二人の方に、本格運用期も展望しつつALMA初期運用における魅力を講演していただきます。

プログラム：1. はじめに 立松健一(国立天文台)
2. プロジェクト進捗、そして初期観測 井口 聖(国立天文台)
3. アルマの共同利用とは 奥村幸子(国立天文台)
4. 第1回観測提案までに準備されるユーザー支援 立原研悟(国立天文台)
- 共同利用のためのツール群
- Helpdesk 窓口について
5. ALMA共同利用開始への期待
- 星・惑星系形成分野から 百瀬宗武(茨城大学)
- 系外銀河分野から 河野孝太郎(東京大学)

世話人：森田耕一郎・立松健一(国立天文台)

◎日本天文学会公開講演会

テーマ：「広島から宇宙を探る：天文研究フロンティア」

日 時：2010年3月28日(日) 13:30～16:10 (開場 12:30)

場 所：東広島市中央公民館大ホール

[http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/icity/browser?
ActionCode=content&ContentID=1189671563765&SiteID=0](http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/icity/browser?ActionCode=content&ContentID=1189671563765&SiteID=0)

対 象：中学生以上・一般向け

内 容：4講演。

- | | |
|------------------------------------|--------------|
| (1) 「『第二の地球』探査と生命の存在確認に向けて」 | 観山正見 (国立天文台) |
| (2) 「石をみる：イオン顕微鏡 SHRIMP で探る太陽系の歴史」 | 寺田健太郎 (広島大学) |
| (3) 「地上からみる：かなた望遠鏡で探る突発性天体」 | 大杉 節 (広島大学) |
| (4) 「上空からみる：フェルミ衛星が描き出すガンマ線宇宙」 | 深澤泰司 (広島大学) |

4つの講演終了後、希望者による東広島天文台見学も予定しています。

人数制限がありますのでご注意ください。詳細は次項をご覧ください。

趣 旨：昨年世界天文年で、宇宙の話題に触れた方も多かったと思います。日本天文学会では年会開催時に、専門研究者以外の方を対象とした講演会を開催しており、今回は、広島に縁のある4名の研究者の方々に最先端の研究についてご紹介させていただきます。

第二の地球はあるのか？ 宇宙人はいるのか？ 東広島市福富町出身である自然科学研究機構国立天文台の観山正見台長に、多くの人々が関心を寄せるこのテーマについて、最新の研究を交えてご紹介いただきます。

天文の研究といえば望遠鏡で空を眺めるというイメージが強いですが、広島大学大学院理学研究科の寺田健太郎准教授には、顕微鏡を用いる一風変わった研究方法についてご紹介いただきます。

宇宙は悠久不変のイメージがありますが、短い時間で激しく変化する現象もあります。広島大学宇宙科学センターの大杉節センター長には、こうした劇的な変化を示す宇宙の一面をどのように捕らえるのか、それによってどんなことがわかるのかをご紹介させていただきます。

地球上に留まっているだけでは知ることができない宇宙の様子もあります。広島大学大学院理学研究科の深澤泰司教授には、人工衛星に搭載した観測装置を用いて初めて明らかになった意外な宇宙の姿をご紹介いただきます。

いずれも、なかなか聞くことができないテーマです。奮ってご参加ください。

申 込：事前の参加申し込みは不要。当日、会場にて受付してください。ただし、会場定員 952 名を越える場合には入場制限をすることがあります。入場無料。

◎東広島天文台見学

日 時：2010年3月28日(日) 16:30～18:55 (参加受付開始 12:30)

集合場所：東広島市中央公民館大ホール (公開講演会会場)

[http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/icity/browser?
ActionCode=content&ContentID=1189671563765&SiteID=0](http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/icity/browser?ActionCode=content&ContentID=1189671563765&SiteID=0)

対 象：中学生以上・一般向け

内 容：広島大学東広島天文台を広島大学の研究者の案内で見学します。送迎バス付き。

- 16:30 東広島市公民館前 (プールバール沿い) 出発
- 17:00 東広島天文台 到着
- 18:00 東広島天文台 出発 (東広島駅経由)
- 18:35 東広島市公民館前 到着
- (18:55 広島大学中央口付近 到着)

※移動時間は道路事情により多少変わることがあります。

申 込：事前の参加申し込みは不要。公開講演会会場にて受付してください。

定 員：先着順 100 名。参加無料。

○春季年会会場(広島大学・東広島キャンパス)のご案内



交通情報

●JR山陽本線西条駅からの場合

広島駅から山陽本線普通列車で三原方面、「西条駅」下車(30-37分)
 (呉線に乗らないように注意してください)
 駅前から、「広島大学」行きバス、「広大中央口」下車(12分)

帰りは、「広大中央口」バス停から同じ進行方向のバスに乗ると、広大キャンパスを1周して西条駅に戻ります。

●新幹線東広島駅からの場合

バスは、7:55,9:00,10:50,12:00(2009年11月の時点)のみ。
 「広大中央口」下車。所要時間20分
 タクシー 約2000円(20分ほど)

帰りのバスは、「広大中央口」から 14:47,16:47,17:22,18:02 のみ(2010年1月の時点)

●広島空港からの場合

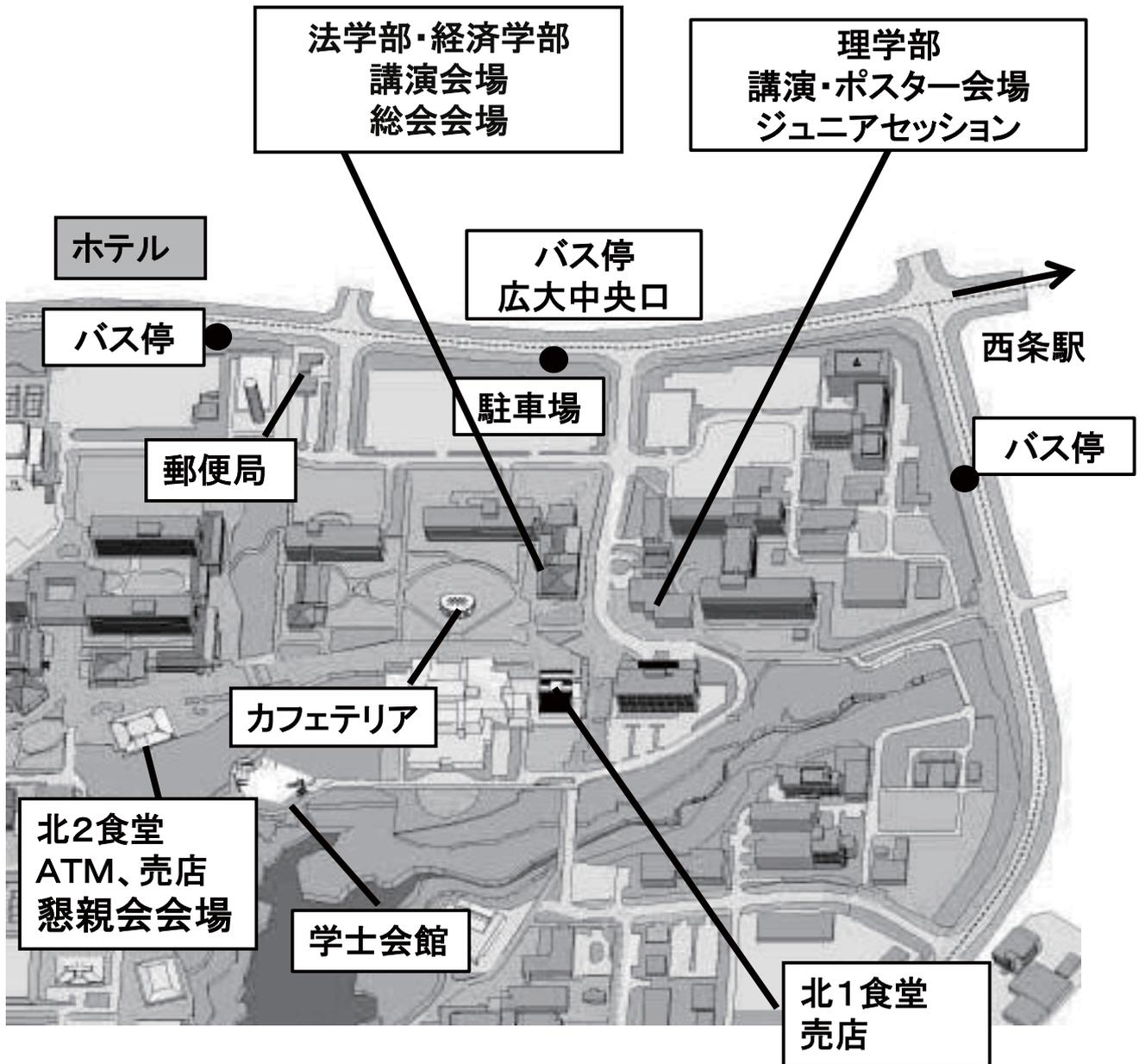
路線バス(空港玄関を出たところに停車場)で山陽本線「白市駅」まで(13分)
 山陽本線広島方面行きで、「西条駅」下車(7分)

タクシー 約7000円(45分ほど)

●広島西飛行場からの場合

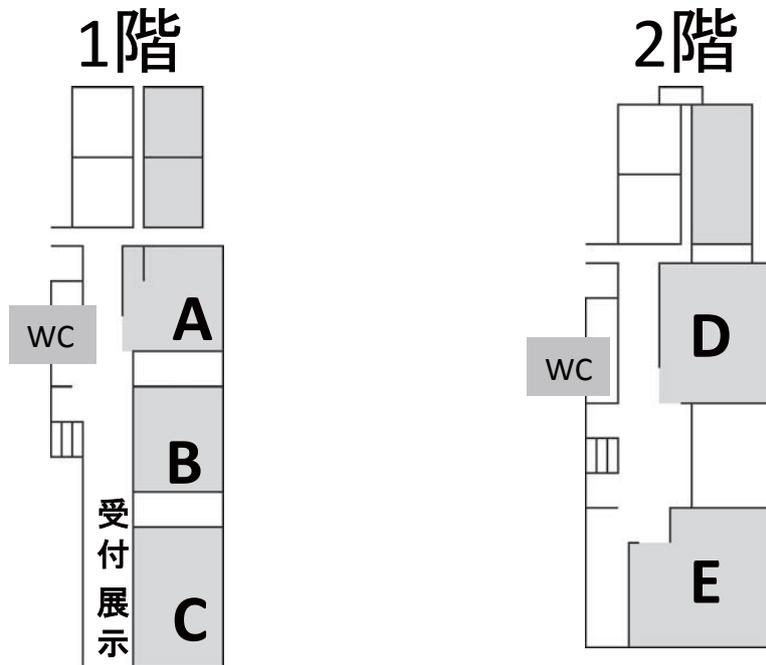
バスまたはタクシーで「広島駅」まで行き(30分)、あとは山陽本線で

キャンパスマップ

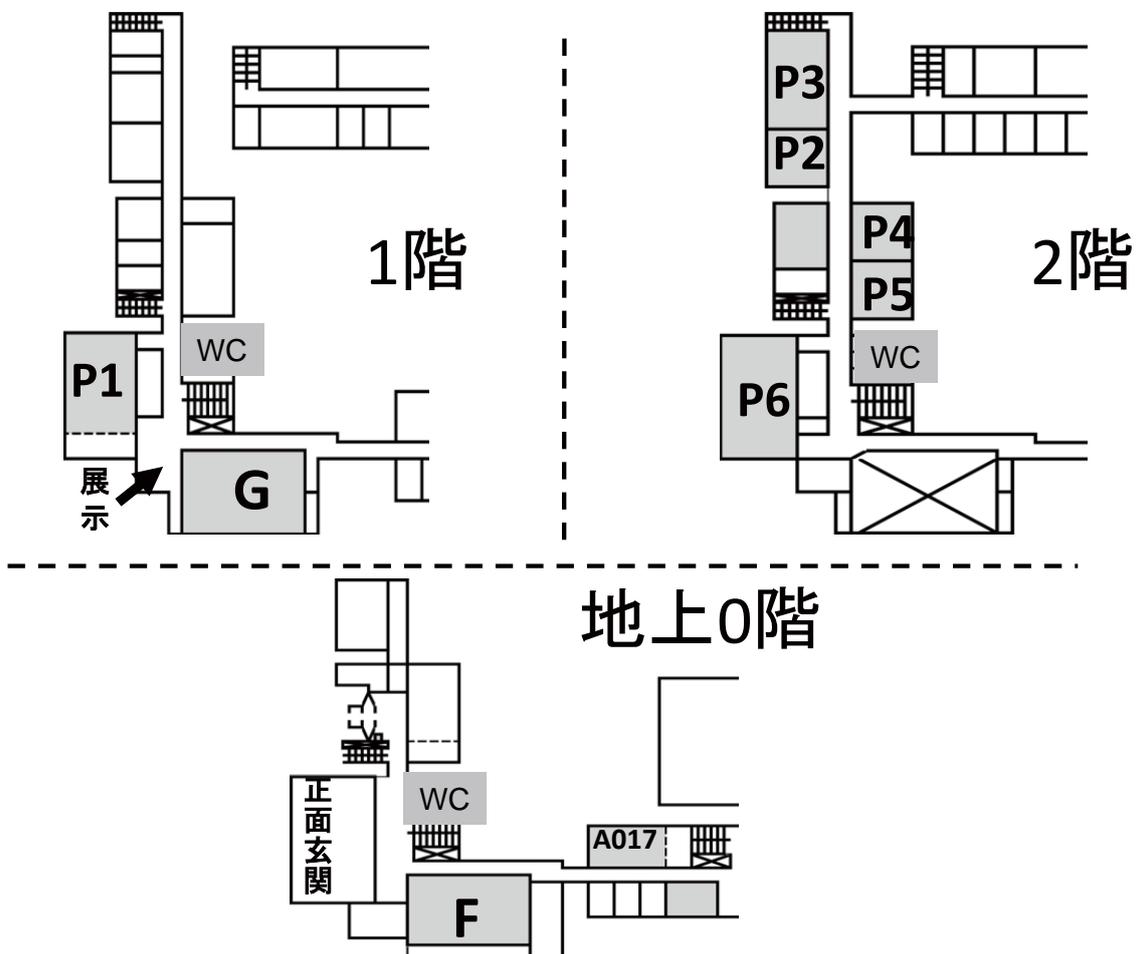


- 車で入構できます。上記以外にも駐車場があります。
- 構内は全面禁煙です。指定された場所での喫煙をお願いします。

法学部・経済学部会場



理学部会場



口頭セッション 3月24日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
開始時刻	【銀河核】	【恒星】	【銀河形成】	【宇宙論】	【教育・他】	【超新星爆発】	【銀河】
13:00	S01a	N01a	X01a	U01a	Y01a	K01a	R01a
13:12	S02a	N02a	X02a	U02a	Y02a	K02a	R02a
13:24	S03a	N03a	X03a	U03a	Y03a	K03a	R03a
13:36	S04a	N05a	X04a	U04a	Y04a	K04a	R04a
13:48	S05a	N06b - N08b	X05a	U05a	Y05b - Y07b	K05a	R05a
14:00	S06a	N09a	X06a	U06a	Y08b, Y09b Y13b	K06a	R06b - R08b
14:12	S07a	N10b - N12b	X07a	U07a	Y14a	K07a	R09b - R11b
14:24	S08a	N13a	X08a	U08a	Y15a	K08a	R12a
14:36	S09a	N14a	X09a	U09a	Y16a	K09a	R13a
14:48	S10a	N15a	X10a	U10b	Y17a	K10b K13b, K14b	R14a
15:00	天文教育フォーラム (E会場)						
開始時刻	【銀河核】	【恒星/太陽系】	【銀河形成】	【宇宙論】	【教育・他】	【超新星爆発】	【銀河】
16:30	S11b - S13b	N16a	X11a	U11a	Y18a	K17a	R15a
16:42	S14a	N17a	X12b, X13b X15b	U12a	Y19a	K18a	R16a
16:54	S15a	N18a	X16a	U13a	Y20b - Y22b	K19a	R17a
17:06	S16a	N19a	X17a	U14a	Y23b, Y24b Y26b	K20a	R18a
17:18	S17a	N20a	X18a	U15a	Y27a	K21a	R19a
17:30	S18a	N21a	X19a	U16a	Y28a	K22a	R20a
17:42	S19a	N22b	X20a	U17a	Y29a	K23a	R21a
17:54	S20a	L01a	X21a	U18a	Y30a	K24a	R22a
18:06	S21b, S22b	L02a	X22b - X24b	U19a	Y31a	K25a	R23a
18:18	-	L04a	X25b	U20a	Y32a	-	R24b, R25b
18:30	-	-	-	U21b	Y33a	-	-

口頭セッション 3月25日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	
開始時刻	【銀河団】	【太陽系】	【銀河形成】	【高密度星】	【Fermi】	【飛翔観】	【星間現象】	
09:30	T01a	L05a	X28a	J01a	A01a) A08a	W01a	Q01a	
09:42	T02a	L06a	X29a	J02a		W02a	Q02a	
09:54	T03a	L07a	X30a	J03a		W03b - W05b	Q03a	
10:06	T04a	L08a	X31a	J04a		W09b - W11b	Q04a	
10:18	T05a	L09b - L11b	X32a	J05a		W12b - W14b	Q05a	
10:30	T06a	L12a	X33a	J06a		W15a	Q06b - Q08b	
10:42	T07a	L13a	X34a	J07a		W16a	Q09a	
10:54	T08a	L14a	X35a	J08a		W17b - W19b	Q10a	
11:06	T09a	L17a	X36a	J10a		W20a	Q11a	
11:18	T10a	L18a	X37a	J11b - J13b		W21a	Q12b - Q14b	
11:30	T11a	-	-	J14a		W23b	-	
11:42	T13b	-	-	J15b		-	-	
11:30	ポスター							
12:30	昼休み							
開始時刻	【星・惑星】	【地上観】	【銀河形成】	【高密度星】	【Fermi】	【飛翔観】	【星間現象】	
13:30	P01a	V01a	X38a	J16a	A09r) A16a	W24a	Q15a	
13:42	P02a	V02a	X39a	J17b - J19b		W25a	Q16a	
13:54	P03a	V03b - V05b	X40a	J20a		W26a	Q17a	
14:06	P04a	V06a	X41a	J21a		W27a	Q18a	
14:18	P05a	V07b - V09b	X42a	J22a		W28a	Q19a	
14:30	P06b - P08b	V10a	-	J23a		W29b, W30b	Q20a	
14:42	P09a	V11b V15b, V16b	-	J24b - J26b		W31a	Q21a	
14:54	P10a	V17b - V19b	-	J27b, J28b		W32a	Q22a	
15:06	P11a	V20b - V22b	-	-		W33a	Q23a	
15:18	P12a	V23b, V24b	-	-		W34b, W35b	Q24b Q26b, Q27b	
15:30	研究奨励賞受賞記念講演 (E会場)							
16:30	ALMA 特別セッション (E会場)							

口頭セッション 3月26日(金)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
開始時刻	【星・惑星】	【地上観】	【太陽】	【高密度星】	【TMT】	【飛翔観】	【星間現象】
09:30	P13a	V27a	M01a	J29a	B01a) B10a	W36a	Q29b - Q31b
09:42	P14a	V28a	M02a	J30a		W37a	Q34a
09:54	P15a	V29a	M03a	J31a		W38a	Q35a
10:06	P16a	V30a	M04b - M06b	J32a		W39a	Q36a
10:18	P18b - P20b	V31a	M07b - M09b	J33a		W40a	Q37a
10:30	P21a	V32a	M10a	J34b, J35b J37b		W41a	Q38a
10:42	P22a	V33a	M12b - M14b	J38a		W42a	Q39a
10:54	P23a	V34a	M15a	J39b - J41b		W43a	Q40a
11:06	P24a	V35a	M16b - M18b	J42a		W44a	Q41a
11:18	P25b - P27b	V36a	M19a	J43a		W45a	Q42a
11:30	-	V37a	-	J44b - J46b		W46a	-
11:42	-	V38b	-	-		-	-
11:30	ポスター						
12:30	昼休み						
開始時刻	【星・惑星】	【地上観】	【太陽】	【高密度星】	【TMT】	【飛翔観】	【星間現象】
13:30	P28a	V39b - V41b	M20a	J48a	B11a) B20b	W47a	Q43a
13:42	P29a	V42a	M21a	J49a		W48b - W50b	Q44a
13:54	P31a	V43b - V45b	M22a	J50a		W52a	Q45a
14:06	P32a	V46a	M23a	J51a		W53a	Q46a
14:18	P33a	V47b - V49b	M24a	J52a		W54a	Q47a
14:30	P34a	V50b V52b, V53b	M25a	J53a		W55a	Q48a
14:42	P35a	V54b, V55b V57b	M26a	J54a		W56b - W58b	Q49a
14:54	P36a	V58b - V60b	M27a	J55a		W59b	-
15:06	P37b - P39b	V61b, V62b	M28a	J56a		W60a	-
15:18	P40b - P42b	-	M29a	J57a		W61a	-
15:30	総会 (E会場)						
17:00	林忠四郎賞受賞記念講演 (E会場)						
18:00	懇親会						

口頭セッション 3月27日(土)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	
開始時刻	【星・惑星】	【地上観】	【太陽】	【高密度星】	【TMT】	【飛翔観】	ジュニア セッション	
09:30	P43a	V64a	M30a	J58a	B21r S B25b	W62a		
09:42	P44a	V67a	M31a	J59a		W63a		
09:54	P45a	V68a	M32a	J60a		W64b - W66b		
10:06	P46a	V69a	M33a	J61a		W67a		
10:18	P47a	V70a	M34a	J62a		W68a		
10:30	P48a	V71a	M35a	J63a		W70a		
10:42	P49a	V72a	M36a	J64a		W72a		
10:54	P50a	V73b - V75b	M37a	J65a		W73a		
11:06	P51a	V76a	M38a	J66a		W74a		
11:18	P52a	V77a	M39a	-		W75b - W77b		
11:30	-	-	M40a	-		-		
11:30	ポスター							
12:30	昼休み							
開始時刻	【星・惑星】	【地上観】				【飛翔観】	ジュニア セッション	
13:30	P53a	V78a				W78a		
13:42	P54a	V79a				W79a		
13:54	P55a	V80a				W80a		
14:06	P56a	V81a				W81a		
14:18	-	V82a				W82a		
14:30	-	V85a				W83a		
14:42	-	-				W84a		
14:54	-	-				W85a		

ポスターセッション 3月24日(水) ~ 3月27日(土)

ポスター会場 1

【Fermi】(2)

A04b A15b

【TMT】(5)

B18b B19b B20b B24b B25b

【高密度星】(24)

J09c J11b J12b J13b J15b

J17b J18b J19b J24b J25b

J26b J27b J28b J34b J35b

J36c J37b J39b J40b J41b

J44b J45b J46b J47c

【超新星爆発】(7)

K10b K11c K12c K13b K14b

K15c K16c

【太陽系】(6)

L03c L09b L10b L11b L15c

L16c

【太陽】(13)

M04b M05b M06b M07b M08b

M09b M11c M12b M13b M14b

M16b M17b M18b

【恒星】(8)

N04c N06b N07b N08b N10b

N11b N12b N22b

ポスター会場 2

【星・惑星形成】(17)

P06b P07b P08b P17c P18b

P19b P20b P25b P26b P27b

P30c P37b P38b P39b P40b

P41b P42b

【星間現象】(16)

Q06b Q07b Q08b Q12b Q13b

Q14b Q24b Q25c Q26b Q27b

Q28c Q29b Q30b Q31b Q32c

Q33c

ポスター会場 3

【地上観測機器】(53)

V03b V04b V05b V07b V08b

V09b V11b V12c V13c V14c

V15b V16b V17b V18b V19b

V20b V21b V22b V23b V24b

V25c V26c V38b V39b V40b

V41b V43b V44b V45b V47b

V48b V49b V50b V51c V52b

V53b V54b V55b V56c V57b

V58b V59b V60b V61b V62b

V63c V65c V66c V73b V74b

V75b V83c V84c

ポスター会場 4

【銀河】(10)

R06b R07b R08b R09b R10b

R11b R24b R25b R26c R27c

【飛翔体観測機器】(37)

W03b W04b W05b W06c W07c

W08c W09b W10b W11b W12b

W13b W14b W17b W18b W19b

W22c W23b W29b W30b W34b

W35b W48b W49b W50b W51c

W56b W57b W58b W59b W64b

W65b W66b W69c W71c W75b

W76b W77b

ポスター会場 5

【活動銀河核】(5)

S11b S12b S13b S21b S22b

【銀河団】(4)

T12c T13b T14c T15c

【宇宙論】(5)

U10b U21b U22c U23c U24c

【銀河形成】(10)

X12b X13b X14c X15b X22b

X23b X24b X25b X26c X27c

【天文教育・他】(16)

Y05b Y06b Y07b Y08b Y09b

Y10c Y11c Y12c Y13b Y20b

Y21b Y22b Y23b Y24b Y25c

Y26b

【PDL】

【最新情報コーナー】

ポスター会場 6

【ジュニアセッション】